

# 「MIRAI SCHOOL いたばし -子ども読書活動2030-」(原案) について

## 1 計画策定にあたって

本編第1章3～6 (P3～P5)

### (1) MIRAI SCHOOL いたばし -子ども読書活動2030-

板橋区では「MIRAI SCHOOL いたばし」を板橋区の未来を象徴する板橋都市ブランドとして位置づけます。「MIRAI SCHOOL いたばし」とは、すべての教育施策を通じて、区民一人ひとりが教え学び合いながら、いたばし全体を学びのキャンパスへと広げることをめざす構想です。「MIRAI」という言葉にこめた5つのチカラとビジョンを下図のとおり位置づけて、子ども読書活動の取組を推進していきます。



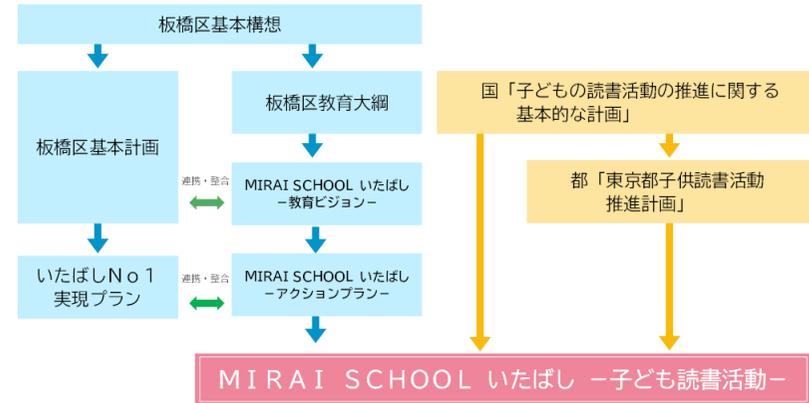
板橋区では「いたばし全体をみんなの学びのキャンパスに MIRAI SCHOOL いたばし」をテーマに、数年計画で様々なプランを推進します。

「子ども読書活動」は、子どもたちが自主的に読書活動を行い、生涯にわたる読書習慣を身につけられるよう、図書館を中心としたさまざまな場で読書を楽しむための環境づくりを行うプランです。  
様々なイベントや施策を計画し、本とふれあひ、本の魅力に出会える機会を提供します。

#### MIRAIという言葉にこめた、5つのビジョン

<b>Motivation</b> 自分らしく進むチカラ	心を豊かにし、未来への歩みを応援してくれる本に出会えるよう、生涯の読書習慣が身につく読書環境へ。
<b>Inclusion</b> 認め合って生きるチカラ	自分とは異なる立場や価値観、感情にふれ、共感する力と寛容な心をもつことで、他者を理解する力をはぐくむ読書環境へ。
<b>Relation</b> つながり助け合うチカラ	読書活動を通じて、図書館や学校など様々な場で周囲とつながり、多様な世代と交流・協働し、他者貢献する力をはぐくむ読書環境へ。
<b>Activation</b> 自ら行動を起こすチカラ	自分の気づきや疑問をきっかけに、自ら調べ、学び、思考を活性化。自らの行動へとつなげていく、自己探求の力を養う読書環境へ。
<b>Innovation</b> ゼロから切り拓くチカラ	情緒や想像力を豊かにはぐくみ、新たな世界や自分の可能性に目を向け、未来を切り拓く、自己成長の力を養う読書環境へ。

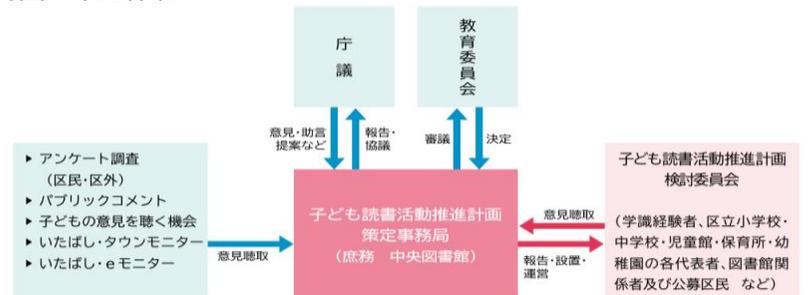
### (2) 計画の位置づけ



### (3) 計画の期間

令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)	令和12年度 (2030年度)	令和13年度 (2031年度)	令和14年度 (2032年度)	令和15年度 (2033年度)	令和16年度 (2034年度)	令和17年度 (2035年度)
板橋区教育大綱									
MIRAI SCHOOL いたばし -教育ビジョン2035-									
MIRAI SCHOOL いたばし -アクションプラン2028-			MIRAI SCHOOL いたばし -アクションプラン2031-			MIRAI SCHOOL いたばし -アクションプラン2035-			
MIRAI SCHOOL いたばし -子ども読書活動2030-									

### (4) 計画の策定体制



## 2 第三期計画の評価

本編第2章1(P7)

### (1) 取組事業に対する評価

取組の実施状況に対する評価を行ったところ、全64事業のうち、63事業が「順調」に進んでおり、「低調」は1事業となっています。低調となった1事業については、事業対象者のニーズを捉えることができなかったことが原因であると考えられます。本計画では、子どもの意見も取り入れた有効的な事業を展開します。

第三期計画の64事業は対象年齢別にカウントしているため、一部事業が重複しています。本計画では基本方針に沿った取組分類とし、事業重複がおこらないように年度評価を行います。

#### 【第三期計画の基本方針】

基本方針1	基本方針2	基本方針3
子どもの読書のための環境の整備・充実	子どもの年齢・発達段階に応じた取組	家庭・地域・学校との協力、連携による取組

#### 【評価結果】

取組の対象（関連する基本方針）	事業数	評価		本計画への反映			
		順調	低調	拡充	継続	改善	終了
乳幼児を対象とした取組（基本方針①②）	13	13	0	4	8	0	1
小学生を対象とした取組（基本方針①②）	14	14	0	4	10	0	0
中学生を対象とした取組（基本方針①②）	12	12	0	2	8	1	1
中高生（ティーンズ）世代を対象とした取組（基本方針①②）	6	6	0	0	6	0	0
特別な支援を必要とする子どもたちへの取組（基本方針①②）	7	6	1	1	5	0	1
家庭・地域・学校との協力、連携による取組（基本方針③）	12	12	0	1	10	1	0

【評価】順調：計画どおりに実施したもの 低調：計画どおりに実施できなかったもの

【本計画への反映】第4章「重点的な取組一覧」に記載

拡充：引き続き計画に位置づけて今後の取組を拡大・充実していくもの

継続：引き続き計画に位置づけて実施していくもの

改善：引き続き計画に位置づけるが、実施方法について改善が必要なもの

終了：計画に位置づけはしないが、計画内の他の取組に含まれるもの

ブックスタート（絵本）の有効活用・書評座談会・多言語資料の有効利用

## 3 MIRAI SCHOOL いたばし -子ども読書活動2030- 本編第3章 (P14~P16)

### (1) 目標と2030年にめざす子どもの姿

読書は、物語の登場人物の喜びや悲しみに共感することや自分自身の考えを確かめたり、深めたりすることができます。この体験を通し、他者の気持ちを理解する力を養い、情緒を育てる重要な役割を果たすと共に、多くの知識を得たり、多様な文化への理解を深めたりすることができます。

子どもが読書習慣を身につけ、自主的に読書活動が行えるよう取組むことが重要です。日常生活の中で本がそばにあり、子どもが本を身近に感じられ、本の魅力を知り、自然と本を読むことができる環境をつくります。本のページを開くように、子どもの未来の可能性を開いていきます。

本計画における目標とめざす姿は、以下のとおりです。

2030年にめざす子どもの姿

◆目標：本にふれる、本を読む、本を好きになる子どもが増える。

◆めざす子どもの姿：子どもが、読書習慣を身につけ、自主的に読書活動を行っている。

※SDGsの『誰一人取り残さない』の基本理念に基づき「あらゆる子ども」と考えています。

### (2) 基本方針

2030年にめざす子どもの姿の達成に向け、策定の基本的な視点に基づき、子どもの読書活動を推進するための基本方針を、以下の3つの柱で進めます。

基本方針1	基本方針2	基本方針3
 子どもの視点に立った取組を実施し、読書の習慣化をめざす	 身近な人々の協力によって、子どもが自由に本とふれあえる環境をつくる	 多様な子どもに適應した読書に関する制度・環境を整備する <small>（読書バリアフリー法の考え方を含む）</small>
1-(1) 読書への興味喚起	2-(1) 乳幼児期の読み聞かせの推進	3-(1) 多様なニーズに対応した資料の充実と活用
1-(2) 自主性の育成	2-(2) 小中学校・幼稚園・保育所における読書環境の充実	3-(2) 新しい技術を導入した読書環境の整備及び図書館の使い方を提供
1-(3) 価値ある知識に出会える環境の設定	2-(3) 子どもと本をつなぐための地域での取組を推進	3-(3) 安心して学べる場の提供とデジタルリソースへのアクセスの確保

### (3) 指標

子ども読書活動の推進に向けた取組の進捗状況や効果を的確に把握し、計画的かつ継続的な改善を図るために、以下のとおり計画の指標を設定します。

#### 【計画の指標】

基本方針	指標		令和6年度	令和12年度	
			実績値	目標値	
1 子どもの視点に立った取組を実施し、読書の習慣化をめざす	1	年代・特色に合わせた展示・イベントの実施回数	—	令和6年度より増加	
	2	イベントの満足度	—	80%以上	
	3	子ども司書の認定者数	15人	100人以上	
	4	本が好き・どちらかといえば好きと回答した児童・生徒の割合	小学生	87.2%	90%以上
中学生	71.4%		80%以上		
2 身近な人々の協力によって、子どもが自由に本とふれあえる環境をつくる	5	読書率（1か月間に本を読んだ児童・生徒の割合）	小学生	89.8%	90%以上
	中学生		85.9%	90%以上	
	6	絵本のプレゼント事業の配付率	65.4%	80%以上	
	7	1人あたりの学校図書館の貸出冊数	小学生	41.6冊	令和6年度より増加
中学生	4.0冊		令和6年度より増加		
3 多様な子どもに適應した読書に関する制度・環境を整備する	8	地域資源との連携事業数	—	令和6年度より増加	
	9	障がいや多言語に配慮した資料の提供	—	令和6年度より増加	
	10	一人一台端末を活用した電子図書館サービスの閲覧数	小学生	217,652回	令和6年度より増加
			中学生	10,726回	令和6年度より増加
	11	区立図書館から学校図書館への団体貸出冊数	小学校	17,619冊	令和6年度より増加
中学校			332冊	令和6年度より増加	
その他	—	令和6年度より増加			

※絵本のプレゼント事業の配付率の令和6年度実績値は旧ブックスタートの実績です。

#### 【進行管理】

毎年度、各主管課に対し、事業の実施結果、評価及び実施計画を調査し、進行状況を把握しながら、その成果を検証していきます。

なお、中間年度においては、進捗状況を取りまとめ、報告することとし、次年度以降の施策推進や次期計画策定の参考とします。

## 4 本計画の主な取組

本編第4章 (P17～P32)



### 重点取組

- ◆年代・特色に合わせた展示・イベントの実施
- ◆子ども司書活動の充実
- ◆子どものニーズ把握とレファレンスの充実
- ◆絵本のプレゼント事業の実施
- ◆学校図書館、幼稚園・保育所の図書館利用促進
- ◆地域資源の活用
- ◆障がいや多言語に配慮した資料の提供
- ◆一人一台端末を活用した読書活動の推進
- ◆「いたばしうちどく週間」の推進
- ◆子どもの居場所づくり



### 「絵本のまち板橋」に関連した取組

- ◆おすすめ本のリスト作成と紹介
- ◆「絵本づくりワークショップ」の開催
- ◆サラボルサ児童図書館との連携企画の実施
- ◆子ども向け事業でのポイント制の実施
- ◆海外絵本を活用したイベントの実施
- ◆「ポローニャ・ブックフェア in いたばし」の開催
- ◆「絵本ガイドデスク」の充実
- ◆親子の読み聞かせの推進
- ◆乳幼児親子で利用しやすい図書館の推進
- ◆英語絵本の活用促進
- ◆子どもの過ごす場での取組
- ◆「いたばし国際絵本翻訳大賞」中学生部門の開催
- ◆図書館サポーターとの協働推進
- ◆区立児童館における取組
- ◆地域企業との連携
- ◆小さな絵本館の設置を拡充
- ◆多様な子どもに対応した事業及び資料の充実
- ◆教育施設への団体貸出



### その他の取組

- ◆本を介した交流会の実施
- ◆年代に合わせた蔵書の充実と情報発信
- ◆学校での読書時間の確保
- ◆「板橋区図書館を使った調べる学習コンクール」の受賞者拡大
- ◆オープンな学校図書館の拡充
- ◆図書館ホームページの充実・SNSの活用